

今回もOSBEELS（オレゴン州試験ボード）のウェブサイトに掲載されている、Examinations & Qualifications Committee（試験資格審査委員会）の議題・議事録から気になるトピックをお知らせします。今回は2011年12月9日、及び2012年2月17日の議事録が対象となります。

(12月9日)

- オレゴン州立大学の工学カレッジの準学部長が、教授陣の総意として、FEなどの受験申請にサインすることは法的に見て違和感がある、との見解を述べた。彼は、試験ボードの要求に適合することは結局学生の責務であり、教授がそれを保証することはできない、との意見を表明した。委員会では、同大学からの申請者数名について、サインの代わりに準学部長からの書簡を以って法の意図に準拠するものとみなし、試験申請を受理する決定をした。
- 2011年4月にFE試験を受けた二人の受験者が、試験後6カ月以内に、科目と日付の記載された成績証明書を提出しなかったため、試験結果を無効とされた。両受験者はヒアリングを要求した。一人の受験者は、ABETないしはACCE適合のプログラムに基づく学位を持っておらず、以下の9科目のうち最低6つの履修証明を求められた。微分方程式、物理学、統計学、静力学、同力学、熱力学、流体工学、電気基礎、材料力学 彼女の成績証明書ではこのうち5つしか記載がなかった（その後どうなったか議事録に記載なし）。もう一人の受験者からは成績証明書の提出がない。
- 同じく2011年4月のFE試験者が、試験後6カ月以内に、科目と日付の記載された成績証明書を提出しなかったため、試験結果を無効とされた。彼は特例扱いを求めるレターを提出したが認められなかった。

受験申請

- FE申請者：ABETないしはACCE適合のプログラムに基づく学位を持っておらず、上記9科目のうち最低6つの履修証明を求められ、6つを証明。2011年4月の試験結果を有効と見做された
- FE申請者：ABETないしはACCE適合のプログラムに基づく学位を持っておらず、上記9科目のうち最低6つの履修証明を求められたが、3つしか証明できず、2011年4月の試験結果を無効と見做された

Comity (他州エンジニア) 申請

- Civil & Structural PE申請者：2002年5月に工学物理学位、2002年秋～2003年秋に学習課題履修（議事録に科目明記なし）、9年4カ月のcivil及びstructuralの工学経験を記載した職歴表と、工学経験を証明する5通のリファレンスを提出。またIdaho州から発行された、NCEESのFE試験（2004年10月）、CivilのPE試験（2006年10月）、及びSE（構造工学）I及びII試験（2009年4月）の合格証明も提出
⇒ Structuralについては不許可、Civilについては許可
- SE (Structural Engineer) 申請者：Arizona州に登録有り、1979年にcivil工学位、20年以上のcivil/structural工学経験を記載した職歴表と、structural工学経験を証明する5通のリファレンス

を提出。またCalifornia州から発行された、NCEESのCivil PE試験の合格証明、及びArizona州から発行された、NCEESのFE及びArizona州特定のSE試験の合格証明も提出

⇒ Comity不許可

- Agricultural PSE (Structural Engineer) 申請者：1977年8月にagricultural工学位、30年以上の工学経験を記載した職歴表と、工学経験を証明する5通のリファレンス（うちsuperviseするprofessionalの分は1通のみ）を提出。またNorth Dakota州から発行された、NCEESのFE試験（1976年4月）の合格証明、及びIowa州から発行された、NCEESのAgriculture PE試験（1980年10月）の合格証明も提出

⇒ Comity許可

CPD (Continuing Professional Development) 監査

- 2011年4月15日のミーティングで猶予期間を認められていた
⇒ 学習を証明する書類を提出し、許可された
- 2009年1月1日～2010年12月31日まで猶予期間を申請
⇒ 許可された
- 11名について、回答が期限内に得られなかったため、Regulation Departmentへ照会された。うち1名が日本人 Mr. Yoshiro Ideguchi

(2月7日)

- 委員会で、PLS (Professional Land Surveyor) 受験希望者の申請をレビューした。1986年にCivil工学位、学習課題履修証明（何の課題が議事録に明記なし）、3年間の土地測量経験を示す職歴表、土地測量経験を示す8通のリファレンス、及びIowa州から発行された、FLS (Fundamental Land Surveyor) 試験合格証明書を提出。PEとしてOregon州に登録されていることも加味し、2012年4月のPLS受験を許可された。
- Oregon工科大学のCivil工学部準教授からのメール要請に基づき、FE又はFLSを受験した学生が卒業する前に試験結果を通知することが可能か検討した
⇒ 卒業前に受験はできるが試験結果を通知することはできないとし、要請を却下。
- 2011年10月の試験において、**試験問題と解答シート以外の物に書込みを行った受験者2名についてレビューを行った。NCEESは違反行為として、試験結果を無効とすることを推奨**している
⇒ 委員会では、3月13日のボード会議に本件を申し送りすることを決定した（注：3月23日時点で3月13日のボード会議の議事録は公表されていない）。

これからPE試験を受ける人は要注意！

- 大学から電子ファイルで送付される卒業証明書を受入れるかどうか、ボードで検討したが、ハードコピーが必須との結論となった。

Comity (他州エンジニア) 申請

- Civil PE申請者：以前Nevada州でPE及びPLSとして登録されていた、Nevada州との相互認証によりCalifornia州でもPE、PLS及び地質学者として認定されていたことを示す文書を提出
⇒ Comity不許可
- Structural PE申請者：1976年5月にCivil工学位、1977年5月にCivil工学修士学位、30年以上の工学経験を記載した職歴表と、工学経験を証明する5通のリファレンスを提出。またIllinois州から発行された、NCEESのFE試験（1976年5月）、CivilのPE試験（2006年10月）、及びIllinois州特化の「State Constructed Structural」A2、B1及びB2試験（1981年4月）の合格証明も提出
⇒ 要件を満たしていると決定し、3月13日のボード会議での承認のためリストに掲載した。

受験申請

- PLS申請者：2002年に工学技術の応用科学系準学士（Associate of Applied Science, AAS）号取得、10年1カ月の土地測量経験を記載した職歴表と、土地測量経験を証明する5通のリファレンスを提出。またWashington州から発行された、NCEESのFLSとPLSの合格と登録の証明も提出
⇒ 要件を満たしていると決定し、2012年4月のOregon特化の受験許可を決定した。
- FE申請者：本人より、学歴及び職歴背景を考慮してもらおうよう文書で要請。2000年7月に経営管理学位取得、2006年春～2007年夏と2008年秋～2011年春の学習課題履修証明（何の課題か議事録に明記なし）、及び3通のリファレンスを提出
⇒ 要件を満たしていると決定し、2012年4月のFE受験許可を決定した。
- Mechanical PE申請者：締切日を過ぎて提出された証明書類を受け付けるかどうか、委員会で検討
⇒ 遅れが申請者の責務ではないと判断し、受け付けることを決定した。
- Civil PE申請者：本人より、superviseするprofessionalのリファレンスの数を減ずるよう要請。2008年6月にCivil工学位取得、4年以上のCivil工学経験を記載した職歴表と、3年10ヶ月の工学経験を証明する6通のリファレンスを提出
⇒ 要件を満たしていると決定し、2012年4月のCivil PE受験許可を決定した。
- Mechanical PE申請者：本人より、学歴及び職歴背景を考慮してもらおうよう文書で要請。2008年にMechanical工学位取得、3年4ヶ月のmechanical工学経験を記載し、superviseするPEの証明を得た職歴表と、工学経験を証明する6通のリファレンスを提出。また2008年10月のOregon州でのFE試験に合格している
⇒ 要件を満たしていると決定し、2012年4月のMechanical PE受験許可を決定した。
- FE申請者：2002年に取得した、Iraq工科大学のBuilding and Construction工学位についての、NCEESの認定評価を提出
⇒ 要件を満たしていると決定し、2012年4月のFE受験許可を決定した。
- FE申請者：2007年5月にEarth and Planetary科学学位取得、2000年秋～2010年春及び2010年夏に学習課題履修（何の課題か議事録に明記なし）、2011年5月にCivil及びEnvironmental工学の修士号取得
⇒ 要件を満たしていると決定し、2012年4月のFE受験許可を決定した。
- PLS申請者：1992年秋～2000年春に学習課題履修（何の課題か議事録に明記なし）、11年8ヶ

月の土地測量経験を示す職歴表と、土地測量経験を証明する5通のリファレンスを提出

⇒ 要件を満たしていると決定し、2012年4月のPLS受験許可を決定した。

- Mechanical PE申請者：本人より、superviseするprofessionalのリファレンスの数を減ずるよう要請。2005年10月にMechanical工学位取得、2007年にMechanical工学修士号取得、2年4ヶ月のmechanical工学経験を記載し、superviseするPEの証明を得た職歴表、mechanical工学経験を証明する7通のリファレンス、及びWashington州から発行された、FE試験合格証明を提出
⇒ 要件を満たしていると決定し、2012年4月のMechanical PE受験許可を決定した。
- 再申請：1回目と2回目の受験で合格点に達しない場合には、更なる受験準備を行ったことを証明する書式を提出する必要がある
⇒ 29名の申請者のうち、19名は2012年4月の受験資格を得た。6名は2012年10月、4名は2013年4月の受験資格を得る可能性がある。

CPD (Continuing Professional Development) 監査

- ある申請者が30 CPD時間を免除するよう要請していたが、却下された
- 別の申請者は、提出書類が十分と見做された
- 4名について、回答が期限内に得られなかったため、Regulation Departmentへ照会された。